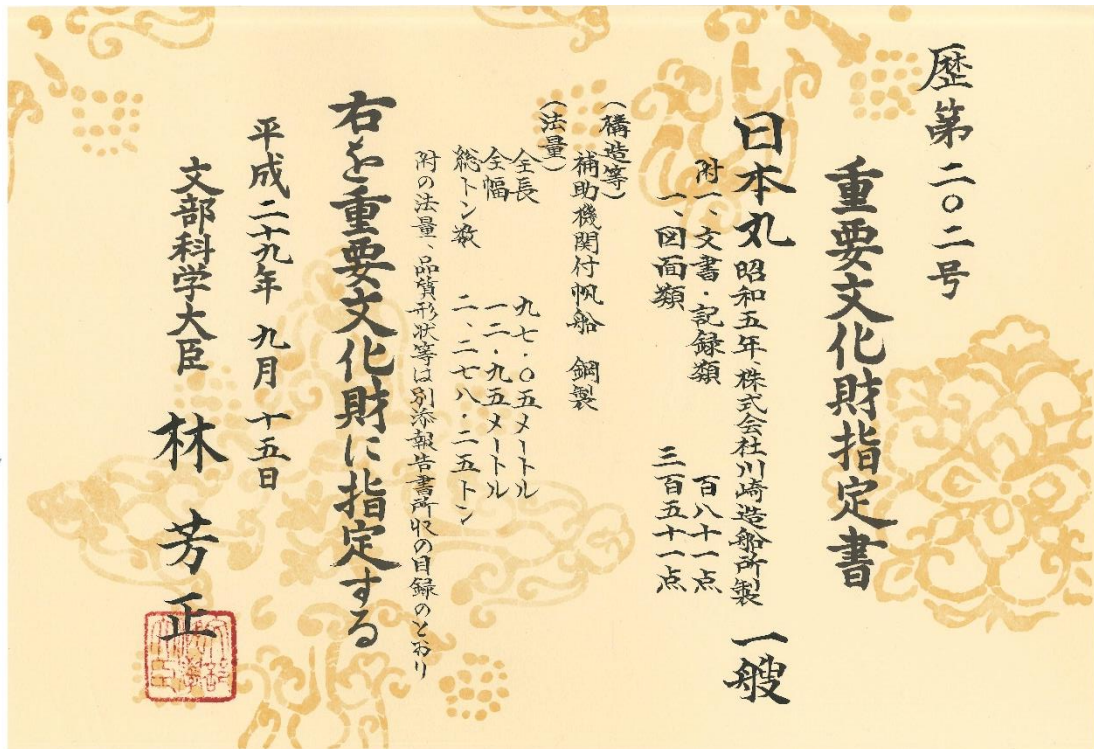


帆船日本丸附(つかけたり)資料について

2017(平成 29)年 9 月 15 日、帆船日本丸は国の重要文化財に指定されました。このとき、指定されたのは帆船日本丸 1 艘と、附(つかけたり)として、日誌類をはじめとする文書・記録類 181 点及び図面類 351 点です(附合計 532 点)。これら附資料は横浜みなと博物館で保管しています。

附資料である、文書・記録類及び図面類についてご紹介します。



重要文化財指定書(表面)

「附(つかけたり)」とは

文化財指定の際に、文化財本体に関連する物品や資料等、指定文化財と一体をなすものとして指定されるものの呼称。「国宝または重要文化財指定書規則」(昭和 25(1950)年 文化財保護委員会規則第七号)第 3 条により、附を記載した附書は文化財及び文化財指定書の一部として取り扱ふとされている。

日本丸に関する附は、1953(昭和28)年の戦後帆走復帰までの期間に作成された文書・記録・図面等が指定されている。

I 文書・記録類 計 181 点

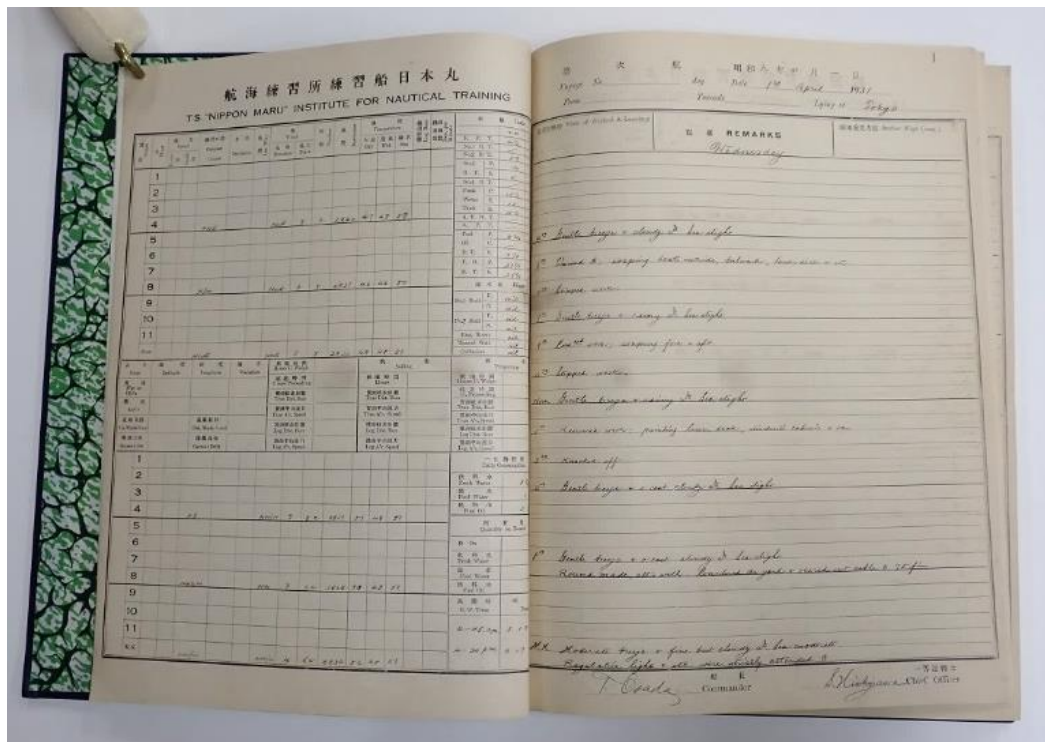
現役時代の帆船日本丸で記録された日誌類や、修繕の記録、遠洋航海報告、実習生の日誌などがあります。主な資料を紹介します。

1 航海日誌

帆船日本丸では、法令に従い、航海上の基本情報、例えば船の行動や気象、燃料や清水の残存量、船内の出来事等を当直航海士が英文で記載した(太平洋戦争中は和文)。1日を見開き2ページで記載。

数量 70冊(1931(昭和 6)年 4 月 1日~1953(昭和 28)年 11 月 8日 合冊、改装)

大きさ タテ 35.7×ヨコ 26.5 cm



帆船日本丸航海日誌 最初のページ 1931(昭和 6)年 4 月 1日



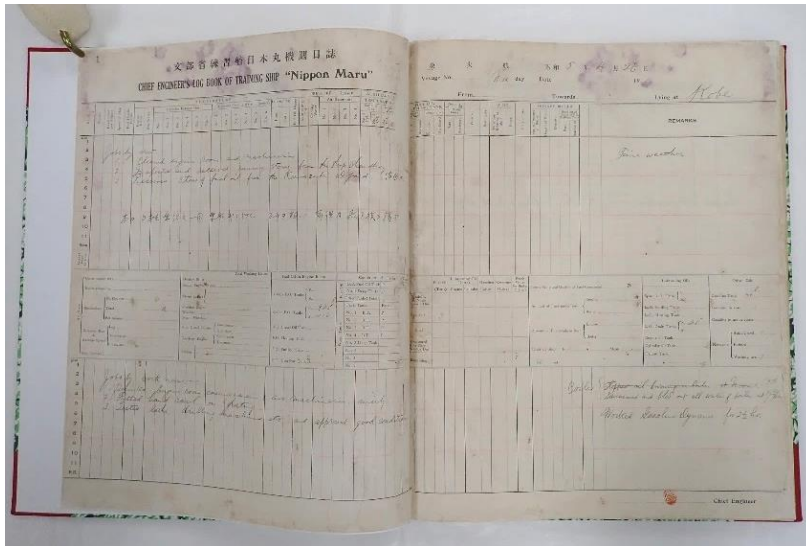
帆船日本丸航海日誌 背表紙

2 機関長日誌(または機関日誌)

帆船日本丸では、エンジンの稼働状況、燃料等の使用量や補充量、また船内の出来事等について当直機関士が英文で記載した(太平洋戦争中は和文)。1日を見開き2ページで記載。

数量 78冊(1930(昭和5)年4月28日~1953(昭和28)年9月3日 改装)

大きさ タテ 38.2×ヨコ 31.3 cm 52冊、タテ 38.3×ヨコ 31.5 cm 8冊、
タテ 35.8×ヨコ 37.4cm 1冊、タテ 35.6×ヨコ 37.5 cm 7冊、
タテ 38.6×ヨコ 29.7 cm 10冊



帆船日本丸機関長日誌 最初のページ
1930(昭和5)年4月28日



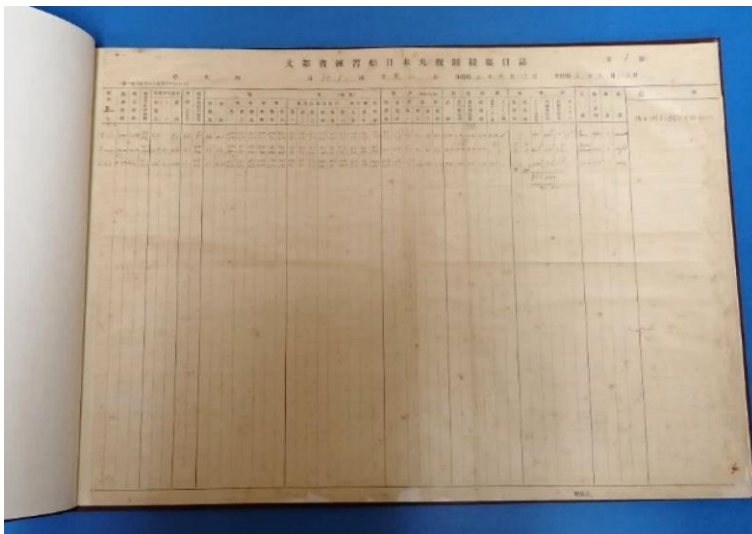
帆船日本丸機関長日誌 背表紙

3 機関撮要日誌(きかんさつようにつし)

機関長日誌に記載された主要データを一覧表にまとめたもの。機関長が英文で記載した(戦前の記載の一部は和文)。

数量 3冊(1930(昭和5)年6月23日~1955(昭和30)年3月31日 改装)

大きさ タテ 39.5×ヨコ 56.4 cm



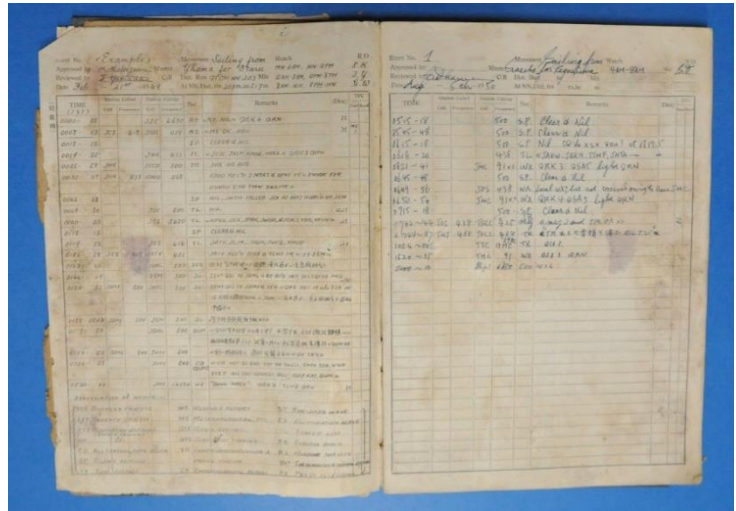
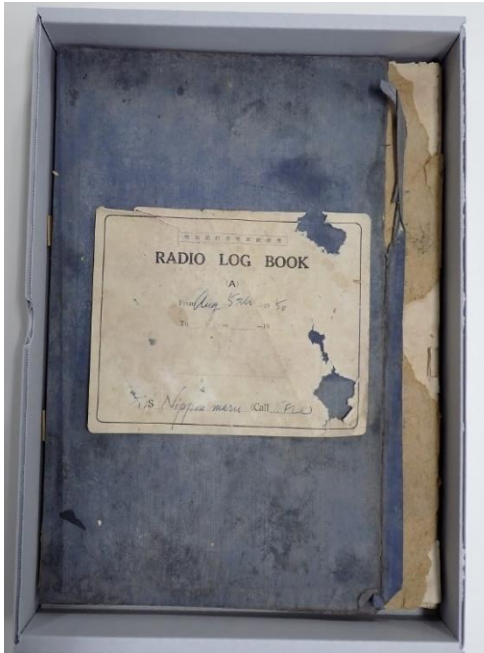
帆船日本丸機関撮要日誌 最初のページ
1930(昭和5)年6月23日

4 無線日誌

帆船日本丸の航海中に送受信した無線通信の記録。主に記号と英文を用いて当直通信士が記録したが、緊急の場合は日本語で記載されることもあった。すべての通信を記載するため、1日分が複数ページにわたる。

数量 12冊(1950(昭和25)年8月5日~1953(昭和28)年9月7日)

大きさ タテ26.5×ヨコ38.1cm 2冊、タテ26.1×ヨコ35.4cm 10冊



帆船日本丸無線日誌 最初のページ

右ページ 1950(昭和25)年8月5日

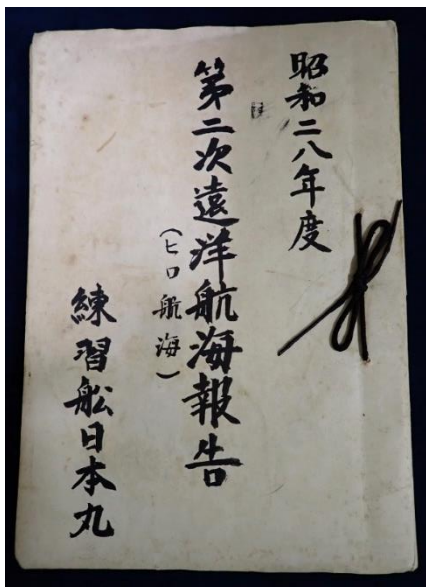
左ページは記入例が記されている

帆船日本丸無線日誌

1950(昭和25)年8月5日~11月30日 表紙

5 その他

遠洋航海報告、^{こうはんぶ}甲板部修繕記録簿、実習生の日誌など 18冊



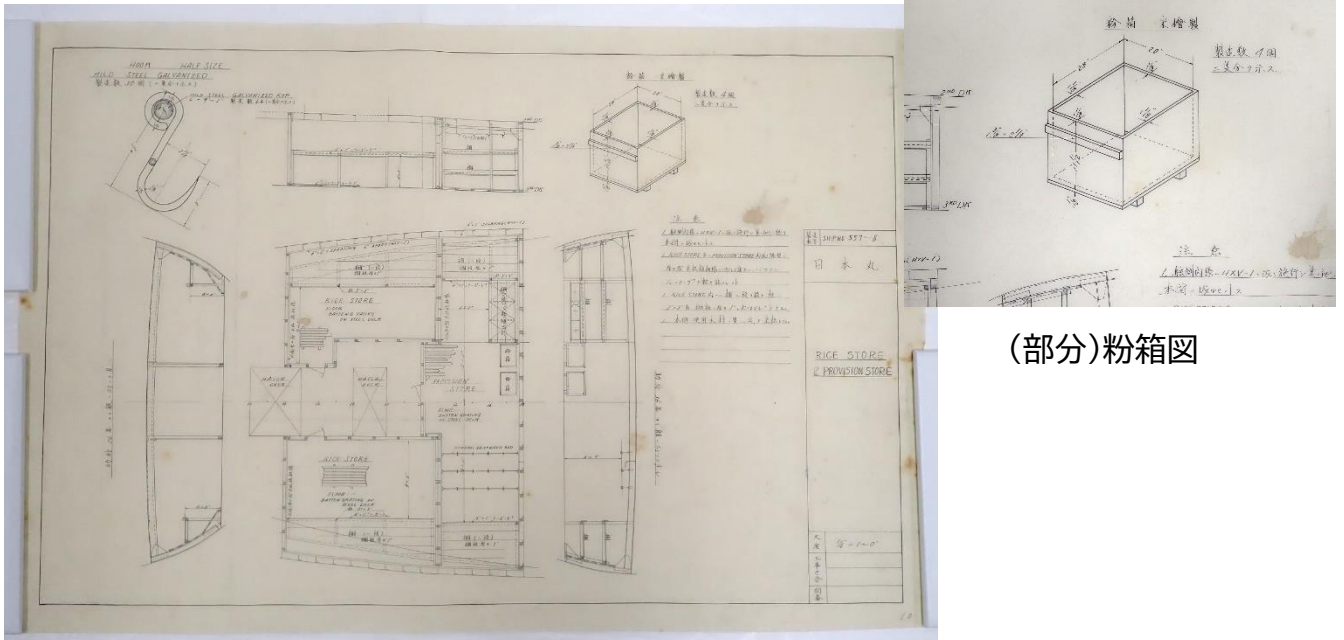
昭和二八年度 第二次遠洋航海報告 練習船日本丸
表紙 自1953(昭和28)年6月6日至8月8日

II 図面類 計 351 点

帆船日本丸の建造や修繕用に製作された各種図面類です。主な資料を紹介します。

1 原図類

日本丸 VENTILATION PLAN (昭和 4 年)、RICE STORE & PROVISION STORE、日本丸通風装置図、日本丸通信装置図など 20 点

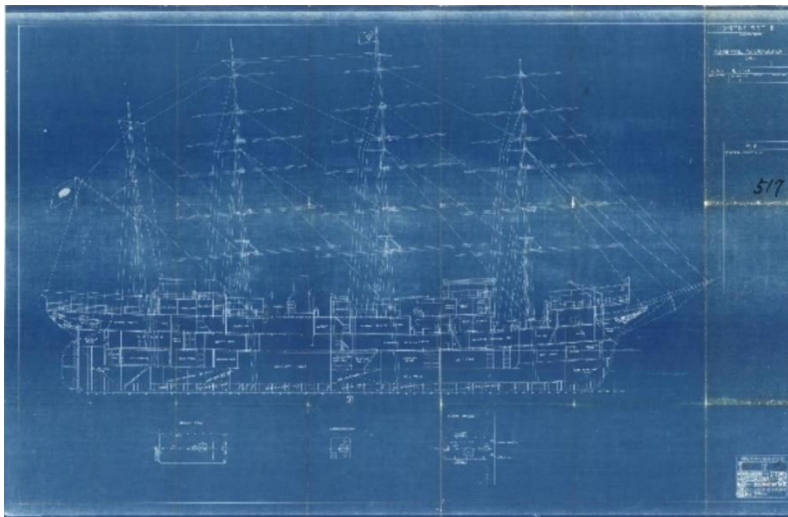


(部分)粉箱図

原図 帆船日本丸 RICE STORE & PROVISION STORE
トレーシングペーパーに描かれている

2 青図類

GENERAL ARRANGEMENT (A) (川崎造船所設計部)、無気噴油ディーゼル機関台床 (株式会社池貝鉄工所)、文部練習船日本丸軸径装置 (株式会社川崎造船所 昭和 5 年)、など 330 点



帆船日本丸 GENERAL ARRANGEMENT (A)
川崎造船所設計部



帆船日本丸関係青図類の一部

3 その他

航跡図(第1次～第20次 昭和14年) 1点



航跡図 練習船日本丸 第1次～第20次
海図用紙を利用 第20次は1939(昭和14)年9月

帆船日本丸重要文化財指定7周年記念
帆船日本丸附資料紹介展 2024(令和6)年9月
公益財団法人帆船日本丸記念財団(帆船日本丸・横浜みなと博物館)
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-1-1